



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第1四半期 | 82,925 | △7.4 | 2,137 | △40.9 | 2,273 | △41.6 | 1,136 | △51.6 |
| 26年12月期第1四半期 | 89,596 | 25.1 | 3,616 | — | 3,894 | — | 2,347 | — |

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 2,969百万円 (277.0%) 26年12月期第1四半期 787百万円 (△80.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第1四半期 | 4.23 | 3.97 |
| 26年12月期第1四半期 | 8.75 | 8.74 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|--------------|---------|---|---------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第1四半期 | 264,589 | — | 124,385 | — | — | 44.3 |
| 26年12月期 | 283,352 | — | 127,434 | — | — | 42.6 |

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 117,228百万円 26年12月期 120,635百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 27年12月期 | — | — | — | — | — |
| 27年12月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 178,000 | 0.8 | 4,200 | 6.1 | 4,800 | 6.5 | 2,500 | 1.4 | 9.32 |
| 通期 | 375,000 | 2.1 | 13,500 | 8.8 | 15,000 | 6.7 | 7,500 | 1.8 | 27.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年12月期1Q | 299,115,346 株 | 26年12月期 | 299,115,346 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年12月期1Q | 30,978,002 株 | 26年12月期 | 31,001,366 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年12月期1Q | 268,146,663 株 | 26年12月期1Q | 268,231,588 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.6「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○ 添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 6 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 6 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 7 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 7 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 7 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 7 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 8 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の売上高は、829億2千5百万円（前年同期比7.4%減、為替変動の影響を除いた実質前年同期比10.6%減）となりました。前年同期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要により販売数量が大幅に増加したこともあり、減収となりました。また、利益では、営業利益21億3千7百万円（同40.9%減）、経常利益22億7千3百万円（同41.6%減）、四半期純利益11億3千6百万円（同51.6%減）となりました。

当社グループは、本年度より開始した中期経営計画「V-2計画（*Vision 2020 Part 2*）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、台所用洗剤分野において主力ブランドでの新製品を導入するとともに、歯刷子、制汗剤等で高付加価値の新製品を発売し育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア・洗濯用洗剤等の主要分野において、積極的なマーケティング施策を展開し、重点ブランドの育成を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|--------|--------|------|--------|------|--------|--------|
| 売上高 | 82,925 | | 89,596 | | △6,670 | △7.4% |
| 営業利益 | 2,137 | 2.6% | 3,616 | 4.0% | △1,478 | △40.9% |
| 経常利益 | 2,273 | 2.7% | 3,894 | 4.3% | △1,620 | △41.6% |
| 四半期純利益 | 1,136 | 1.4% | 2,347 | 2.6% | △1,211 | △51.6% |

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | | セグメント利益（営業利益） | | | |
|----------|---------|---------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|
| | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
| 一般用消費財事業 | 58,027 | 67,775 | △9,748 | △14.4% | 330 | 2,394 | △2,064 | △86.2% |
| 産業用品事業 | 14,327 | 13,175 | 1,152 | 8.7% | 392 | 553 | △160 | △29.1% |
| 海外事業 | 23,520 | 19,911 | 3,608 | 18.1% | 983 | 442 | 540 | 122.0% |
| その他 | 6,559 | 6,454 | 105 | 1.6% | 176 | 55 | 121 | 220.0% |
| 小計 | 102,434 | 107,317 | △4,883 | △4.6% | 1,881 | 3,445 | △1,563 | △45.4% |
| 調整額 | △19,509 | △17,721 | △1,787 | — | 256 | 171 | 84 | 49.6% |
| 合計 | 82,925 | 89,596 | △6,670 | △7.4% | 2,137 | 3,616 | △1,478 | △40.9% |

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要により販売数量が大幅に増加した前年同期に比べ14.4%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比86.2%の減少となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|--------|--------|
| 売上高 | 58,027 | | 67,775 | | △9,748 | △14.4% |
| セグメント利益 | 330 | 0.6% | 2,394 | 3.5% | △2,064 | △86.2% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では6,293百万円、前第1四半期では6,159百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| オーラルケア分野 | 12,020 | 13,562 | △1,541 | △11.4% |
| ビューティケア分野 | 5,032 | 5,769 | △737 | △12.8% |
| ファブリックケア分野 | 15,912 | 21,902 | △5,989 | △27.3% |
| リビングケア分野 | 5,210 | 4,979 | 231 | 4.6% |
| 薬品分野 | 7,298 | 7,627 | △328 | △4.3% |
| その他の分野 | 12,553 | 13,935 | △1,382 | △9.9% |

(オーラルケア分野)

歯磨は、主力の「クリニカ」および「システム」シリーズを重点育成するとともに、おやすみ前の使用で、フッ素が翌朝まで口の中にとどまり、就寝中に歯を強くし、ムシ歯を予防する新製品「クリニカアドバンテージ デンタルジェル」を発売しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

歯刷牙は、「クリニカアドバンテージ ハブラシ」が順調に推移するとともに、歯列にフィットするアーチ形状を採用し、歯の汚れをすみずみまで除去して歯周ポケットもきれいにできる新製品「システムアーチフィット ハブラシ」がお客様のご好評を得ましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、調理で手についた生肉の脂汚れ・生魚のニオイまでしっかり落とす「キレイキレイ薬用キッチン泡ハンドソープ」を新発売しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

制汗剤は、“ナノイオン殺菌成分”がワキの皮膚に長くとどまり、ニオイを長時間ブロックする新製品「Ban^{バン}ニオイブロックロールオン」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、超コンパクト液体洗剤「トップ NANO X^{ナノノックス}」、「トップ HYGIA^{ハイジア}」の育成に注力しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

柔軟剤は、奥深い香りが1日中続く「香り&デオドラントのソフラン アロマリッチ」シリーズが好調に推移しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、ベタつく油汚れを水のようにサラサラ落とす“ナノ洗浄”で食器洗いが手早く片づく新製品「CHARMY MAGICA^{チャーミーマジカ}」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」、トイレ用洗剤「ルックまめピカ トイレのふき取りクリーナー」の育成に注力しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、腰痛や肩こり痛などの身体の痛みに優れた効き目を発揮する解熱鎮痛成分“ロキソプロフェンナトリウム水和物”を配合した「エキセドリン LOX^{ロックス}」を新発売しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム」、「スマイル40 EX^{イーエックス} ゴールドマイルド」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、エイジングヘアケアシリーズ「Fleuria^{フルリア}」が好調に推移しましたが、機能性食品等で、主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

<産業用品事業>

当事業では、導電性カーボン、界面活性剤、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、昨年4月より一部関係会社を連結子会社としたため前年同期比8.7%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期の駆け込み需要の反動の影響を受け、前年同期比29.1%の減少となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-------|--------|
| 売上高 | 14,327 | | 13,175 | | 1,152 | 8.7% |
| セグメント利益 | 392 | 2.7% | 553 | 4.2% | △160 | △29.1% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では7,222百万円、前第1四半期では5,018百万円となっております。

導電性カーボンは、リチウムイオン電池などの2次電池向けケッチェンブラックが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

界面活性剤は、洗剤向けの原料等が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤は、厨房向け消毒用アルコールが順調に推移しましたが、ハンドソープが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

<海外事業>

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比18.1%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比2.9%の増加)となりました。セグメント利益は、前年同期比122.0%の増加となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-------|--------|
| 売上高 | 23,520 | | 19,911 | | 3,608 | 18.1% |
| セグメント利益 | 983 | 4.2% | 442 | 2.2% | 540 | 122.0% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では1,192百万円、前第1四半期では1,039百万円となっております。

(主要国の状況)

タイでは、「植物物語」ボディソープが堅調に推移しましたが、洗濯用洗剤「パオ」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微増となりました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

韓国では、「キレイキレイ」ハンドソープが好調に推移しましたが、台所用洗剤「チャムグリーン」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システム」歯刷牙子が順調に推移するとともに、日本製品の輸入販売が増加し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。また、円貨換算でも大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-----|--------|
| 売上高 | 6,559 | | 6,454 | | 105 | 1.6% |
| セグメント利益 | 176 | 2.7% | 55 | 0.9% | 121 | 220.0% |

（注）売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では4,800百万円、前第1四半期では5,503百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

| | 当第1四半期 連結会計期間末 | 前連結会計年度末 | 増減 |
|-------------|-------------------|----------|---------|
| 総資産（百万円） | 264,589 | 283,352 | △18,762 |
| 純資産（百万円） | 124,385 | 127,434 | △3,049 |
| 自己資本比率※1（%） | 44.3 | 42.6 | 1.7 |

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して187億6千2百万円減少し、2,645億8千9百万円となりました。純資産は、30億4千9百万円減少し、1,243億8千5百万円となり、自己資本比率は44.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については変更しておりません。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、118円／米ドル、3.5円／パーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が4,106百万円減少、退職給付に係る負債が3,161百万円増加、利益剰余金が4,680百万円減少しております。なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 18,008 | 16,255 |
| 受取手形及び売掛金 | 59,007 | 50,143 |
| 有価証券 | 24,448 | 14,354 |
| 商品及び製品 | 25,270 | 29,037 |
| 仕掛品 | 4,605 | 4,872 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,489 | 9,368 |
| その他 | 5,396 | 5,254 |
| 貸倒引当金 | △51 | △49 |
| 流動資産合計 | 146,175 | 129,236 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 79,275 | 78,425 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 7,197 | 6,504 |
| その他 | 1,909 | 1,784 |
| 無形固定資産合計 | 9,106 | 8,288 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 34,438 | 36,545 |
| その他 | 14,388 | 12,124 |
| 貸倒引当金 | △31 | △31 |
| 投資その他の資産合計 | 48,794 | 48,638 |
| 固定資産合計 | 137,176 | 135,353 |
| 資産合計 | 283,352 | 264,589 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 46,590 | 41,897 |
| 短期借入金 | 12,602 | 12,418 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 116 | 116 |
| 未払金及び未払費用 | 45,123 | 34,207 |
| 未払法人税等 | 3,336 | 1,250 |
| 賞与引当金 | 2,631 | 1,874 |
| 返品調整引当金 | 525 | 522 |
| 販売促進引当金 | 894 | 924 |
| 役員賞与引当金 | 256 | 76 |
| その他 | 3,459 | 3,038 |
| 流動負債合計 | 115,537 | 96,327 |
| 固定負債 | | |
| 新株予約権付社債 | 14,430 | 14,462 |
| 長期借入金 | 2,448 | 2,395 |
| 役員退職慰労引当金 | 448 | 475 |
| 退職給付に係る負債 | 18,526 | 22,002 |
| 資産除去債務 | 344 | 340 |
| その他 | 4,182 | 4,200 |
| 固定負債合計 | 40,380 | 43,876 |
| 負債合計 | 155,918 | 140,204 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 34,433 | 34,433 |
| 資本剰余金 | 31,499 | 31,499 |
| 利益剰余金 | 66,095 | 61,206 |
| 自己株式 | △16,827 | △16,818 |
| 株主資本合計 | 115,201 | 110,321 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,912 | 9,814 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | - |
| 為替換算調整勘定 | 3,339 | 2,963 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △5,816 | △5,870 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,434 | 6,907 |
| 新株予約権 | 910 | 907 |
| 少数株主持分 | 5,888 | 6,248 |
| 純資産合計 | 127,434 | 124,385 |
| 負債純資産合計 | 283,352 | 264,589 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 89,596 | 82,925 |
| 売上原価 | 39,114 | 36,654 |
| 売上総利益 | 50,481 | 46,270 |
| 販売費及び一般管理費 | 46,864 | 44,132 |
| 営業利益 | 3,616 | 2,137 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43 | 31 |
| 受取配当金 | 8 | 5 |
| 持分法による投資利益 | 249 | 100 |
| 受取ロイヤリティー | 61 | 67 |
| 為替差益 | 7 | 9 |
| その他 | 102 | 83 |
| 営業外収益合計 | 472 | 299 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 183 | 111 |
| 社債利息 | - | 32 |
| その他 | 11 | 19 |
| 営業外費用合計 | 194 | 163 |
| 経常利益 | 3,894 | 2,273 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 110 |
| 段階取得に係る差益 | 477 | - |
| 特別利益合計 | 477 | 110 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 21 | 20 |
| 減損損失 | 19 | - |
| 特別損失合計 | 40 | 20 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,331 | 2,363 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,362 | 590 |
| 法人税等調整額 | 441 | 337 |
| 法人税等合計 | 1,804 | 927 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,527 | 1,436 |
| 少数株主利益 | 179 | 299 |
| 四半期純利益 | 2,347 | 1,136 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,527 | 1,436 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,262 | 1,910 |
| 繰延ヘッジ損益 | △23 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △499 | △148 |
| 退職給付に係る調整額 | - | △53 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 45 | △175 |
| その他の包括利益合計 | △1,739 | 1,533 |
| 四半期包括利益 | 787 | 2,969 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 688 | 2,609 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 99 | 360 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 |
|----------------------------------|--------------|--------|--------|-------|---------|-------------|---------------------------|
| | 一般用消費財 事業 | 産業用品事業 | 海外事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 61,616 | 8,157 | 18,871 | 951 | 89,596 | — | 89,596 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1 | 6,159 | 5,018 | 1,039 | 5,503 | 17,721 | △ 17,721 | — |
| 計 | 67,775 | 13,175 | 19,911 | 6,454 | 107,317 | △ 17,721 | 89,596 |
| セグメント利益 | 2,394 | 553 | 442 | 55 | 3,445 | 171 | 3,616 |

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 171 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 |
|----------------------------------|--------------|--------|--------|-------|---------|-------------|---------------------------|
| | 一般用消費財 事業 | 産業用品事業 | 海外事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 51,733 | 7,105 | 22,328 | 1,758 | 82,925 | — | 82,925 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1 | 6,293 | 7,222 | 1,192 | 4,800 | 19,509 | △ 19,509 | — |
| 計 | 58,027 | 14,327 | 23,520 | 6,559 | 102,434 | △ 19,509 | 82,925 |
| セグメント利益 | 330 | 392 | 983 | 176 | 1,881 | 256 | 2,137 |

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 256 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)**(子会社設立および子会社間の事業譲渡)**

当社は、平成27年4月30日開催の取締役会において、台湾に当社100%出資の子会社を新たに設立するとともに、連結子会社である獅王工業股份有限公司（以下「獅王工業」という。）の販売事業を当該新設会社に事業譲渡することを決議いたしました。

1. 新会社設立および事業譲渡の目的

当社グループの台湾における営業力の強化および経営の意思決定の迅速化を目的として、獅王工業の販売・マーケティング部門を分離し、新たに当社が100%出資により設立する子会社に当該部門を譲渡することといたしました。

2. 新設子会社の概要

商号：獅王家品股份有限公司

事業内容：洗濯用洗剤、台所洗剤、歯磨、ハブラシ、化学品等の販売

設立年月日：2015年9月1日（予定）

資本金：530百万台湾ドル（約20.4億円）

出資比率：当社 100%

3. 事業譲渡の内容**(1) 譲渡する事業**

洗濯用洗剤、台所洗剤、歯磨、ハブラシ、化学品等の販売

なお、製造については獅王工業で継続いたします。

(2) 譲渡する事業の平成26年12月期の経営成績

売上高：1,035百万台湾ドル（約39.8億円）